

報道関係各位

2026年2月2日

季節が過ぎて行き場を失ったおせちを救う「おせちレスキュー」
～最大80%OFFでKuradashiにて販売～

ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」を運営する株式会社クラダシ（本社：東京都品川区、代表取締役社長CEO：河村晃平、以下「クラダシ」）は、販売季節を過ぎて行き場を失い、賞味期限が迫った「ロスおせち」をレスキューするため、2026年2月2日(月)より3日間限定で、最大80%OFFのおトクなおせちを販売いたします。Kuradashiでは、昨年末にもフードロス削減の取り組みとして、ロスになる可能性のあるおせちを販売し、12月の1か月間で約13,000件の「ロスおせち」をレスキューしました。冬の内が過ぎて需要が落ち着くこの時期は、おせちがフードロスの危機に直面しやすいうことから、さらなる削減を目指し本キャンペーンを実施いたします。

・「おせちレスキュー」特設サイト：<https://kuradashi.jp/pages/osechi-2026-february>



■「おせちレスキュー」概要

このたび、お正月に向けて販売を予定していたものの、需要予測の難しさからどうしても余ってしまったおせちを、参考小売価格の最大80%OFFでKuradashiにて販売いたします。

・開催期間：2026年2月2日(月)～2月4日(水) 23:59まで

・販売場所：「おせちレスキュー」特設サイト

<https://kuradashi.jp/pages/osechi-2026-february>

・割引率：参考小売価格の最大80%OFF

・対象商品：需要予測の乖離によりフードロスになりうる和洋中おせちなど全17商品

■取り組みの背景

2月3日の節分には、恵方巻きを食べる風習が定着していますが、2月3日が過ぎると一気に需要が消失し、毎年深刻なフードロスが問題視されています。実際に、食品ロスジャーナリストの井出留美氏の調査(※1)によると、2025年の節分当日に発生した恵方巻きの売れ残りは、大手コンビニだけで3億円以上発生していた可能性が指摘されています。

お正月の主役である「おせち」も例外ではありません。おせちは、多種多様な食材を使うことから原材料の調達や管理が複雑なため、多くの販売事業者は前年の販売実績をもとに春頃から販売計画台数を決定し、製造発注を開始します。そのため、需要予測が立てづらく、どうしてもロスになりやすい商材と言われています。

Kuradashiでは、そのようなおせちをお得な価格で販売することを通じて、昨年末は約13,000件(※2)の「ロスおせち」をレスキューいたしました。

このたび、松の内が過ぎ、需要が完全に落ち着いた今、賞味期限の切迫により通常の販路では販売できなくなったおせちが、本格的に廃棄の危機を迎えています。

恵方巻きの廃棄問題に関心が高まるこの時期だからこそ、同じように行き場を失ってしまったおせちを一つでも多くレスキューし、最後までおいしく食べていただく機会を提供すべく、再び「ロスおせち」を販売いたします。

※1 出典:朝日新聞SDGs ACTION「[恵方巻きコンビニだけで今年も3億円超の無駄？ 井出留美の「食品ロスの処方箋」\[42\]](#)」

※2 2025年12月1日～2025年12月31日までの販売件数

今後もクラダシは、フードロス削減をはじめ、さまざまな社会課題を価値へと転換しつつ、社会・環境・経済へ確かなインパクトをもたらす「ソーシャルグロースカンパニー(Social Growth Company)」を目指します。

■Kuradashi Food:フードロス削減の大きな輪をつくる。

ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」の運営を核に、サプライチェーンの上流から下流までの全工程に深く関与し、これまでのECの枠を超えて、食品メーカーの在庫管理や物流戦略を共に考えることで、フードロス削減が循環する「善い食産業」のインフラとなることを目指します。

URL: <https://corp.kuradashi.jp/food/>

■楽しいお買い物で、みんなトクするソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」とは

Kuradashiは、楽しいお買い物で、みんなトクするソーシャルグッドマーケットです。

フードロス削減を目指し、まだ食べられるにもかかわらず捨てられてしまう可能性のある食品などを、おトクに販売しています。

さらに、売り上げの一部を環境保護・災害支援などに取り組むさまざまな社会貢献団体への寄付やクラダシ基金として活用し、SDGs17の目標を横断して支援しています。

楽しくておトクなお買い物が、社会に良いことにつながる。そんな、全く新しいソーシャルグッドマーケットを創出しています。

URL: <https://www.kuradashi.jp/>

【本件に関するお問い合わせ】

広報担当:斎藤 pr@kuradashi.jp

■株式会社クラダシについて

代表者氏名:河村晃平

設立:2014年7月

本社所在地:〒141-0021 東京都品川区上大崎3丁目2-1 目黒センタービル 5F

URL:<https://corp.kuradashi.jp/>

【サービス紹介】

- ・ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」:<https://www.kuradashi.jp/>
- ・クラダシが自社で運営する「クラダシ基金」:<https://www.kuradashi.jp/fund>
- ・冷凍宅配弁当「Dr. つるかめキッチン」:<https://tsurukame-kitchen.com/>
- ・冷凍宅配弁当「Kitchen Chef & Doctor」:<https://chef-doctor.com/shop>
- ・オンライン料理教室「La Table de SHIORI Online」:<https://online.atelier-shiori.com/>

【店舗一覧】

- ・Kuradashi店舗一覧:<https://kuradashi.jp/pages/stores>

【クラダシのインパクト】

- ・インパクトサイト:<https://corp.kuradashi.jp/impact/>
- ・サステナビリティレポート:<https://speakerdeck.com/kuradashi/sustainability-report>

【2025年9月末時点の主な累計実績】

- ・フードロス削減量:30,828トン
- ・経済効果:149億9,926万円
- ・CO2削減量:81,726t-CO2
- ・支援総額:173,991,693円

「Kuradashi」、「ソーシャルグッドマーケット」、「1.5次流通」、「もったいないを価値へ」は株式会社
クラダシの登録商標です。

【本件に関するお問い合わせ】

広報担当:斎藤 pr@kuradashi.jp